

清流のほとり



令和5年11月1日(水)発行

園長 津田 将美

幼稚園HPのQRコードです！

運動会の余韻

運動会が終わった後に、PTAの役員さんからこんなことを言われました。

「雨に降られても、それもまたいい思い出ですね。」子どもたちだけでなく、保護者の方々も濡らしてしまった後ただだけに、この言葉が心にしみました。

何よりも、「エビカニクス」を踊り終えた後の子どもたち、そして保護者の方々の表情がきらきらして、とても素敵で、救われた気分になりました。雨の降る中、最後まであたたかく、そして前向きに子どもたちのことを応援してくださって、本当にありがとうございました。

子どもたちは、本当にがんばってくれたと思います。がんばっただけでなく、開会式に話した「楽しんでほしい」という園長の願いをかなえてくれたことがわかりました。

「がんばる」「楽しむ」ことは、運動会本番だけではなく、日々の保育から運動会の準備、練習、本番を通して、営々と続いてきた流れです。子どもたちはこの流れの中で、揺れて揉まれて洗われ、響き合い、励まし合って成長してきました。そしてこの流れは、これからも続いていきます。

運動会が終わった翌週には、運動会の流れを生かした遊びがたくさん見られました。年長の子が年中、年少の子たちに運動会のダンスを教えてあげたり、運動会の種目を発展させた遊びをしたりと、子どもたちもしばらくは、運動会の余韻を楽しんでいるようでした。

秋も深まると、子どもたちの遊びもだんだんと秋色に染まっています。今ではどんぐりやくつつき虫を使った秋らしい遊びに移行してきていますが、運動会でつけた力、前向きさ、仲間との協力の心は、これからの生活の中でもしっかりと根付き、芽を出していきそうで楽しみです。



様々な行事を通して… 交通安全教室・親子でズンバ

10月16日に恒例の松田警察署の方々による交通安全教室が開催されました。やはり、実際に警察の方がお話ししてくださいと、子どもたちの食いつき方も違います。ホールでの講話、園庭での実技と、子どもたちは、一生懸命学ぶことができました。

最後には白バイと一緒に写真を撮ったり、乗せていただいたりと心に残る交通安全教室となりました。

17日の「親子でズンバ」は、熱気で包まれました。親子で汗をかき素敵な時間を共有することのできる場となりました。どちらの行事も多くの方々の協力のおかげでした。本当にありがとうございました。

